

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：食物栄養学科

資格：教授

氏名：雨海 照祥

研究分野	研究内容のキーワード
臨床栄養学	外科代謝栄養、外科学、アウトカム、小児、高齢者
学位	最終学歴
博士（医学）	筑波大学 医学専門学群 卒業

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. 日本栄養士会、監修、教育プログラム「TNT-D」作成上の編集、構成。DVD 2本の作成：1, 臨床栄養学講座「胃・腸のメカニズム」、2, 「遠くて近い栄養と薬理」	2008年03月	・日本栄養士会、監修、教育プログラム「TNT-D」は世界共通の管理栄養士の教育ツールを医師の立場からアドバイザーとして担当。 ・DVD 1、2は薬物と食物とが、いずれも教育ツールとして開発。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 医師免許 2. 日本小児外科学会専門医 3. 日本小児外科学会指導医	1982年05月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」策定委員	2014年4月2015年3月	厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」の策定に従事した
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. メラビアンルール(1)	単	2017年9月	臨床栄養	雨海照祥
2. あたまのなかのらせんとコンパス(2)	単	2017年7月	臨床栄養	雨海照祥
3. あたまのなかのらせんとコンパス(1)	単	2017年5月	臨床栄養	雨海照祥
4. 低栄養対策パーフェクトガイドー病態から問い直す最新の栄養管理 低栄養のスクリーニング・アセスメント	共	2017年5月	臨床栄養	雨海照祥, 幸恵里, 黒川典子, 甲斐千穂, 長谷川万莉
5. 血清成分の異常：3頭のバタフライの秘密(2)	単	2017年3月	臨床栄養	雨海照祥
6. 臨床現場から教育に求められること：Part-2	共	2017年2月	臨床栄養	雨海照祥, 近森正幸, 宮澤靖, 内山里美, 佐藤亮介, 蓬田健太郎, 林宏一, 升井洋至
7. 血清成分の異常：3頭のバタフライの秘密(1)	単	2017年1月	臨床栄養	雨海照祥
8. 治療関連合併症 treatment-related morbidity—APACHE IIスコアによる未来予測(1)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
9. 治療関連合併症 treatment-related morbidity—APACHE IIスコアによる未来予測(2)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
10. 血液凝固系の異常の原因と結果—2つのWells スコアの謎(1)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
11. 血液凝固系の異常の原因と結果—2つのWells スコアの謎(2)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1 著書				
12. 母子のバトン・リレー—HELLP 症候群(1)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
13. 母子のバトン・リレー—HELLP 症候群(2)	単	2016年	臨床栄養	雨海照祥
14. 超高齢社会における低栄養の予防と対策	共	2016年	月刊保団連	雨海照祥, 長谷川万莉
15. Viscosity thickened enteral formula	共	2015年	"Diet and Nutrition in Critical Care", Ed. by Prof. Preedy V, King's College, London, Springer. ISBN: 978-1-4614-7837-9	Ichimaru S., Amagai T.
16. 困ったときのヒント満載栄養力UP NST症例集(5)	単	2015年	臨床栄養別冊	雨海照祥
17. 治療関連合併症treatment-related morbidity-低Na血症 (1)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥
18. 薬剤による口腔内異常 (2)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥
19. 薬剤による口腔内異常 (1)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥
20. 論文をめぐる対談	共	2015年	臨床栄養	雨海照祥.
21. 女性栄養学の誕生 (3)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥
22. 女性栄養学の誕生 (2) 臨床栄養	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥.
23. MUSTとNRS2002は日本人に使えるか—栄養アセスメントツールの普遍性の検証	共	2015年	臨床栄養別冊	雨海照祥, 久保知子, 黒川典子, 長谷川民子, 甲斐千穂, 北川萌子
24. 高齢者の身体変化、栄養状態から考える 高齢者食・介護食	共	2015年	食品と開発 特集/栄養成分表示と分析法の課題	雨海照祥, 黒川典子, 長谷川民子, 甲斐千穂, 北川萌子
25. 治療関連合併症treatment-related morbidity-低Na血症 (2)	単	2015年	臨床栄養	雨海照祥
26. 栄養アセスメントと身体機能—癌患者の場合—	共	2014年8月	消化器外科 へるす出版	雨海照祥, 一丸智美, 鉾立容子, 林田美香子
27. 日本褥瘡学会の褥瘡予防・管理ガイドラインの使い方	単	2014年6月	高齢者の糖尿病と栄養 フジメディカル出版	
28. サルコペニア 病態の特徴	単	2014年6月	高齢者の糖尿病と栄養 フジメディカル出版	
29. Intermittent and bolus methods of feeding in critical care	共	2014年1月	in book:Diet and Nutrition in Critical Care, publisher: Springer New York, Editors: Rajukmar Rajendram, Victor R. Preedy, Vinood B. Patel, ppl-17.	Satomi Ichimaru, Teruyoshi Amagai
30. サルコペニアの成因	共	2013年	栄養・運動で予防するサルコペニア 医歯薬出版	雨海照祥, 一丸智美
31. サルコペニアの栄養療法 たんぱく質・アミノ酸	共	2013年	栄養・運動で予防するサルコペニア 医歯薬出版	雨海照祥, 大西泉澄
32. サルコペニアの栄養療法 脂肪酸	共	2013年	栄養・運動で予防するサルコペニア 医歯薬出版	雨海照祥, 林田美香子
33. サルコペニアと抗酸化物質	単	2013年	栄養・運動で予防するサルコペニア 医歯薬出版	
34. サルコペニアの診断	単	2012年	サルコペニアの摂食・嚥下障害 リハビリテーション栄養の可能性と実践 医歯薬出版株式会社	
35. 新臨床栄養学 第2版 編集協力	共	2012年	医学書院	
36. 脂肪乳剤	単	2012年	臨床栄養別冊 JCSセレクト7 薬物—飲食物 医歯薬出版株式会社	
37. 1. 高齢者と栄養：超高齢社会とは	単	2011年07月	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
38. 6. MNA-SFの特徴	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1 著書				
39. 3. MNAとアウトカムー在宅高齢者の入院後のアウトカムに影響する因子群	単	2011年	医歯薬出版株式会社 高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
40. 1. 高齢者と栄養: 栄養一負のスパイラルと正のスパイラル	単	2011年	医歯薬出版株式会社 高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
41. 栄養スクリーニング手法 (2) 栄養アセスメント・ツール-NRS 2002, MUST, MST, MNA-SF, GNRI-	単	2011年	栄養-評価と治療	
42. 7. MNA-SF 6項目の内容と意義: チューブ栄養のときのスコアは?	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
43. 7. MNA-SF 6項目の内容と意義: D 精神的ストレス・急性疾患	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
44. 7. MNA-SF 6項目の内容と意義: F BMI・CC	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
45. EBNとオーダーメイド医療との衝突	単	2011年	臨床栄養別冊 JCNセレクト7: EBN エビデンスにもとづく栄養ケア 医歯薬出版株式会社	
46. 5. MNAの開発経緯	単	2011年	高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック 医歯薬出版株式会社	雨海照祥, 葛谷雅文, 吉田貞夫, 宮澤靖
47. 短腸症候群と小腸不全	単	2010年	臨床栄養	
48. 対談 小腸不全・短腸症候群の治療と栄養ケア	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, Tom Jaksic
49. カンガルーケアで出生児合併症による出生児死亡を予防できる	単	2010年	臨床栄養	
50. 対談 臨床研究の進め方	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 佐々木敏
51. 高齢者の栄養とMNAの有用性	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, Cornel C. Sieber
52. 小児の急性低栄養に対する治療効果の判定-WHO基準とNCHS基準の比較	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 脇田真季, 宮本恵里
53. 対談 重症病態の栄養療法をめぐって	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 足立香代子
54. シトルリンの生体内における役割	単	2010年	臨床栄養	
55. 入院中の小児の栄養スクリーニングツール-オランダの国内調査	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季
56. 対談 管理栄養士の卒前・卒後教育を考える	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 武田英二
57. ICUで肥満は有利か不利か	単	2010年	臨床栄養	
58. 低栄養症候群	共	2010年	日本臨床	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季 他
59. 膝疾患 のう胞生線維症	共	2010年	日本臨床	雨海照祥, 谷口章子, 高岸和子 他
60. 看護と臨床栄養-看護栄養学序説		2010年	看護技術	
61. NST誌上症例検討-多臓器不全	単	2010年	臨床栄養	
62. NSTのための臨床栄養ブックレット7: ライフステージ② (壮年期, 更年期, 老年期) 編集	共	2010年	文光堂	山東勤弥, 保木昌徳, 雨海照祥
63. 胎児プログラミング	共	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット7: ライフステージ① (新生児, 乳児, 学童, 思春期, 妊産婦) 文光堂	脇田真季, 雨海照祥
64. NSTのための臨床栄養ブックレット6: 癌, 化学療法, 褥瘡, AIDS 編集	共	2010年	文光堂	山東勤弥, 保木昌徳, 雨海照祥
65. 小腸移植	単	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット5: 周術期とクリティカルケア 文光堂	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1 著書				
66. 腎臓移植	共	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット5：周術期とクリティカルケア 文光堂	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季
67. 肝臓移植	共	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット5：周術期とクリティカルケア 文光堂	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季
68. 肝臓移植・腎臓移植における栄養管理の基本	共	2010年	NSTのための臨床栄養ブックレット5：周術期とクリティカルケア 文光堂	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季
69. 化学療法・造血幹細胞移植における栄養管理の意義	単	2010年	. Human Nutrition	
70. 座談会 近森病院NSTラウンドに学ぶ	共	2010年	臨床栄養	雨海照祥, 宮澤靖 他
71. 各種増粘剤使用による経腸栄養剤の粘度測定と比較	共	2009年	Nutrition Support Journal	雨海照祥, 脇田真季, 升井洋至
72. 全身疾患としての褥瘡の栄養管理	共	2009年	褥瘡会誌	雨海照祥, 古田島聡, 酒井政幸 他
73. のう胞生線維症	共	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット2：消化管の疾患 文光堂	雨海照祥, 谷口章子
74. NSTのための臨床栄養ブックレット3：生活習慣病 編集	共	2009年	文光堂	山東勤弥, 保木昌徳, 雨海照祥
75. GOLD-COPDガイドラインの世界基準のひとつ	共	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット4：呼吸・循環系の疾患 文光堂	雨海照祥, 谷口章子, 脇田真季, 松岡美緒
76. CASE 3 重症膵炎	単	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット1：肝・胆・膵・腎の疾患 文光堂	
77. 急性膵炎・慢性膵炎	単	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット1：肝・胆・膵・腎の疾患 文光堂	
78. 胆石症・胆嚢炎	共	2009年	NSTのための臨床栄養ブックレット1：肝・胆・膵・腎の疾患 文光堂	雨海照祥, 脇田真季, 松岡美緒
79. 脂肪酸と炎症—細胞膜から核へ, 検査室から臨床現場へ	単	2009年	臨床栄養	
80. Mini Nutritional Assessment (MNA) —高齢者のアウトカム指標としての栄養判定基準	単	2009年	臨床栄養	
81. 脂肪乳剤の効果—臨床アウトカムにおける意義と課題	共	2009年	臨床栄養	雨海照祥, 高岸和子, 脇田真季 他
82. 適正タンパク質の指標 NPC/N比を用いた栄養ケア	共	2008年	月刊ナーシング	雨海照祥, 脇田真季, 松岡美緒
83. 下痢—その臨床的意義と対策 (1)	共	2008年	臨床栄養	雨海照祥, 大石恭子
84. 下痢—その臨床的意義と対策 (2)	共	2008年	臨床栄養	雨海照祥, 大石恭子
85. 鉄	共	2008年	臨床栄養	雨海照祥, 脇田真季
86. 鉄	共	2008年	臨床栄養	雨海照祥, 脇田真季
87. 微量得要素小辞典 監訳	共	2008年	西村書院	宮崎正己, 雨海照祥, 谷口章子
88. 新臨床栄養学—臨床編1. 栄養アセスメント2. 呼吸ガス分析	共	2007年03月	医学書院	岡田 正, 馬場忠雄, 山城雄一郎 (編)
89. NCP/N比の臨床的意義—そこからみえてくるもの・みえないもの	共	2007年	臨床栄養	雨海照祥, 鞍田三貴
90. 病態に応じた正しい輸液の考え方	共	2007年	Total Nutrition Care	井上善文, 石橋生哉, 土師誠二, 杉浦伸一, 雨海照祥
91. 食物・栄養成分のエネルギーと生体における利用機序—エネルギーの「おにぎり命題」と「人間命題」—	共	2007年	栄養 評価と治療	雨海照祥, 高岸和子, 鞍田三貴 他
92. 外科系疾患のモニタリング	共	2007年	静脈経腸栄養	雨海照祥, 大石恭子, 藤澤克彦
93. エネルギー消費量算出のピットフォール—Longの式の妥当性を検証	共	2007年	臨床栄養	雨海照祥, 藤澤克彦

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1 著書				
する				
94. 経腸栄養剤の選択とその注意点 非蛋白カロリー/窒素比とNaイオ ンの意義	共	2007年	臨床栄養	雨海照祥, 大石恭子
95. 栄養素と感染症—褥瘡における栄 養の意義	単	2007年	臨床栄養	
96. 学会発表から論文への序章—論文 バラバラ分解編	単	2007年	臨床栄養	
97. 研究結果が論文の命—図と表の左 →右方向に命を込める	単	2007年	臨床栄養	
98. 『対象と方法』も, 論文の2つ目 の命—統計処理から倫理委員会ま で	単	2007年	臨床栄養	
99. エネルギー必要量の算定の根拠— エビデンスは本当にあるのか?	共	2006年	医歯薬出版	毛利 健
100. 静脈経腸栄養ガイドライン—日本 静脈経腸栄養学会監修	共	2006年	南江堂	日本静脈経腸栄養学会ガイドライン作成委員会
101. 実戦4000問—管理栄養士国家試験 完全攻略2006—臨床栄養学	共	2006年	医歯薬出版	阿部一博、ほか
102. 小児医療にみる医学留学へのパス ポート—イギリス医療から教えて もらった多くのこと	単	2006年		
103. 輸液・栄養療法 EVIDENCE & CON TROVERSY	共	2006年	医歯薬出版	毛利 健、ほか
104. 臨床栄養管理法—栄養アセスメン トから経済評価まで—	共		建帛社	武田英二, 雨海照祥, 佐々木雅也 他 共著
2 学位論文				
3 学術論文				
1. High Serum EAA as a predictor of skeletal muscle depletion i n cachexic patients with advan ced gastro-intestinal cancers	共	2017年7月pe er reviewed	Nutr Clin Pract. 2017 Aug 1;88453361772474 2. doi: 10.1177/088453 3617724742. [PMID28850 803]	Kitagawa M, Haji S, Amagai T.
2. An Elevated Serum AA/EPA Ratio as a Predictor of Skeletal Mu scle Depletion in Cachexic Pat ients with Advanced Gastro-int estinal Cancers	共	2017年peer reviewed	IN VIVO, 2017;31:1003 -9. [PMID28882973]	Kitagawa M, Haji S, Amagai T.
3. Upper extremity muscle functio n as an indicator of pre-frail ty in older adult patients wit h chronic obstructive pulmonar y disease (COPD)	共	2016年6月pe er reviewed	J Aging Res Clin Prac tice 2016;5(3):147-15 4.	Miyamoto E, Kaneko M, Ichimaru S, Amagai T.
4. Addition of alpha-amylase and thickener to blenderized rice provides suitable viscosity fo r use in nutritional support	共	2016年5月pe er reviewed	J Nutr Health. 2016;2(1):7	Itoh M, Nishimoto Y, Masui H, Etani Y, Takagish i K, Ida S, Amagai T.
5. Intestinal Starvation is Assoc iated with Diarrhea in Older A dult Patients after Percutaneo us Endoscopic Gastrostomy (PEG) Creation	共	2016年1月pe er reviewed	J Food Nutr Disor 201 6, 5:1	Hayashida M, Fukushima T, Ichimaru S, Hokotachi Y, Yamagata K, Amagai T
6. Energy intake in the first wee k in an emergency intensive ca re unit may not influence clin ical outcomes in critically ill, overweight Japanese patient s	共	2016年peer reviewed	Asia Pac J Clin Nutr. 2016, In Press	Ichimaru S, Sono M, Seo R, Ariyoshi K, Amagai T .
7. Cumulative Energy Deficit for First 7 days After Admission I s Associated with Poor Outcome s Three Months Later in Non-Ac ute Hospitalized Older Adults.	共	2015年4月pe er reviewed	J Aging Res Clin Prac tice 2015;4:172-9.	Hokotachi Y, Ichimaru S, Hayashida M, Amagai T.
8. Low Energy Intake During the F irst Week in an Emergency Inte nsive Care Unit Is Associated With Reduced Duration of Mecha nical Ventilation in Criticall y Ill, Underweight Patients: A Single-Center Retrospective C hart Review.	共	2014年peer reviewed	Nutr Clin Practice 20 14;29:368-79.	Ichimaru S, Fujiwara H, Amagai T, Atsumi T.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
9. Disaster Nutrition in the Great East Japan Earthquake Disaster -GEJED.	共	2014年peer reviewed	Nutr Clin Practice 2014;29:585-94.	Amagai T, Ichimaru S, Tai M, Ejiri Y, Muto A.
10. The application of a feeding protocol in older patients fed through percutaneous endoscopic gastrostomy tubes by the intermittent or bolus methods: a single-retrospective chart review center,	共	2013年2月peer reviewed	Asia Pac J Clin Nutr 2013;22 (2):229-234.	Ichimaru S, Amagai T, Shiro Y.
11. Changes of Energy Metabolism, Nutritional Status and Serum Cytokine Levels in Patients with Crohn's Disease after anti-Tumor Necrosis Factor- α Therapy	共	2013年peer reviewed	J Clin Biochem Nutr. 2013 Sep; 53(2): 122-127.	Nishida N, Sasaki M, Kurihara M, Ichimaru S, Wakita M, Bamba S, Andoh A, Fujiyama Y, Amagai T.
12. Impact of energy intake on the survival rate of patients with severely ill stroke	共	2013年peer reviewed	Asia Pac J Clin Nutr 2013;22 (3):474-481	Wakita M, Omori Y, Ichimaru, Wakayama A, Amagai T.
13. Which is more effective to prevent enteral nutrition-related complications, high- or medium-viscosity thickened enteral formula in patients with percutaneous endoscopic gastrostomy?: a single-center retrospective chart review.	共	2012年8月peer reviewed	Nutr Clin Pract. 2012 ;27(4):545-52.	Ichimaru S, Amagai T, Wakita M, Shiro Y.
14. Determinant Factors of the Viscosity of Enteral Formula-Basic Analysis of the Thickened Enteral Formula-	共	2012年02月peer reviewed	Nutr Clin Pract. 2012 ;27(1):82-90.	Wakita M, Masui H, Ichimaru S, Amagai T.
15. Nutrition Assessment as a Predictor of Clinical Outcomes for Infants With Cardiac Surgery: Using the Prognostic Nutritional Index.	共	2011年01月peer reviewed	Nutr Clin Pract	Wakita M, Fukatsu A, Amagai T.
16. Effect of a high density of formula on growth and safety in congenital heart disease infants	共	2010年05月peer reviewed	e-SPEN, the European e-Journal of Clinical Nutrition and Metabolism. 2010;5(6):281-3.	Taniguchi-Fukatsu A, Matsuoka M, Amagai T.
17. 乳幼児の術前の身体指標は術後のアウトカム指標となり得るか-心疾患症例における検討-	共	2010年04月	外科と代謝・栄養	脇田真季, 谷口章子, 川脇 恵, 松岡美緒, 雨海照祥
18. 乳児における予後推定栄養指数 (PNI) の意義に関する検討-心臓手術患児の場合-	共	2009年04月	外科と代謝・栄養	脇田真季, 谷口章子, 川脇恵, 三橋祥子, 滝川沙也加, 桑原彰子, 雨海照祥
19. 外科系疾患のモニタリング	共	2007年02月	静脈経腸栄養	大石恭子, 藤澤克彦
20. 超低出生体重児における壊死性腸炎に対する治療と予後	共	2006年04月	東京医学社・小児外科	川上 肇, 室伏雅之, 宮本泰之, 新井順一
21. 低出生体重児の消化管疾患に対する機能性食品の臨床的効果に関する考察-腸音による評価を含めて	共	2006年04月	機能性食品と薬理栄養	毛利 健, 川上 肇, 室伏雅之
22. SGA(主観的包括的栄養評価)とODA(客観的データ栄養評価)-ODAを造語した敬意とその意義	共	2006年04月	医歯薬出版・臨床栄養	井上善文, 佐々木雅也, 中村卓也
23. 腫瘍への空気の流入により判明した小腸重複症の新生児の1例	共	2006年04月	日本小児放射線学会雑誌	毛利 健, 川上 肇, 室伏雅之
24. How about hospital malnutrition in children's hospital in Japan	共	2006年04月	J Parenteral & Enteral Nutrition	Mouri T., Kawakami H., Murofushi M., Ishii T., Nemoto Y
25. 栄養サポートにおける医療技術と倫理、法的問題-複雑に絡み合う三つの判断	単	2006年04月	医歯薬出版・臨床栄養	
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 教育講演: "A novel methodology system to educate patients with non-communicable diseases and to evaluate its effectiveness by outcome parameters"	単	2017年6月29日	11th European Nutrition & Dietetics Conference. Madrid, Spain.	
2. 福祉職域事業部第18回専門研修会【中堅者研修IV-2】		2013年9月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養-アセスメントとモニタリング (サルコペニア・褥瘡)

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
3. 全国福祉栄養士協議会第17回専門 研修会 中四国&東海北陸ブロッ ク		2013年7月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養ーアセスメントとモニタリング
4. 全国福祉栄養士協議会第17回専門 研修会 北海道&東北ブロック		2013年7月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養ーアセスメントとモニタリング
5. 福祉職域事業部第18回専門研修会 【中堅者研修III-2】		2013年6月		疾病等のガイドラインを理解する（高血圧・脂質異 常症・褥瘡について）
6. 日総研公開セミナー（研修会）		2013年5月28 日		病態別に学ぶ栄養アセスメントと栄養ケア計画策定 の技術とポイント
7. 日総研公開セミナー（研修会）		2013年5月		病態別に学ぶ栄養アセスメントと栄養ケア計画策定 の技術とポイント
8. 平成25年度揖龍栄養士会総会およ び研修会		2013年5月		高齢者の栄養ケアマネージメント
9. 日総研グループ公開セミナー（研 修会）		2013年4月		病態別に学ぶ栄養アセスメントと栄養ケア計画策定 の技術とポイント
10. 第2回「日本人の食事摂取基準（2 015年版）」策定検討会		2013年3月19 日		「エネルギー代謝の概論について」 厚生労働省
11. 日総研公開セミナー（研修会）		2013年3月		病態別に学ぶ栄養アセスメントと栄養ケア計画策定 の技術とポイント
12. 福祉職域事業部第17回専門研修会		2013年3月		疾病等のガイドラインを理解する（高血圧・脂質異 常症・褥瘡について）
13. さいたま市保健所管内給食研究会 ・さいたま市保健所合同研修会		2013年2月		笑顔の見える栄養管理-小児から高齢者まで-
14. 日総研公開セミナー（研修会）		2013年2月		高齢者の栄養アセスメントと栄養ケア計画作成のポ イント
15. 浜松医科大学 NST勉強会		2013年11月		これからのNSTはどうあるべきか？新生児から超 高齢者まで
16. 日本栄養士会		2013年11月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
17. 全国福祉栄養士協議会第17回専門 研修会 九州ブロック		2013年10月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養ーアセスメントとモニタリング
18. 全国福祉栄養士協議会第17回専門 研修会 近畿ブロック		2012年9月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養ーアセスメントとモニタリング
19. 大阪府栄養士会透析食研究会		2012年8月		透析患者の症例検討第2弾～チュートリアル形式にて ～
20. 平成24年度 社会福祉施設等給食 担当職員研修		2012年8月		運動とバランスのとれた食事～サルコペニアの予防 ～
21. 栄養サポートチーム担当者研修会		2012年8月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
22. TNT-D追加研修会 東京会場		2012年7月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
23. 全国福祉栄養士協議会第17回専門 研修会 関東甲信越&京浜ブロッ ク		2012年6月		疾病における食習慣指導のケーススタディ 経腸栄養ーアセスメントとモニタリング
24. 第4回日本静脈経腸栄養学会四国 支部学術集会		2012年6月		平時に備える災害弱者への栄養療法—小児，高齢者 ，女性，そして・・・—
25. 赤相栄養士会総会・研修会		2012年5月		高齢者の栄養管理～高齢者のための低栄養発見ツ ールのMNA-SF
26. TNT-D研修会（九州ブロック）～ ファースト・ステップ～		2012年10月		水，電解質，栄養サポートの根拠と適応，栄養アセ スメントと栄養不良の発見
27. 広島県栄養士会		2012年03月		老年症候群と栄養-MNA-SFの臨床的な意義と可能性
28. 第14回神奈川NSTフォーラム		2011年11月		栄養がアウトカムに与える影響の検討
29. TNT-D追加研修会および栄養サポ ートチーム担当者研修会		2011年11月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
30. 日本栄養士会		2011年10月		水，電解質，栄養サポートの根拠と適応，栄養アセ スメントと栄養不良の発見
31. 滋賀県栄養士会		2011年10月		水と電解質の管理
32. 佐賀県病院栄養士協議会		2011年10月		高齢者の水分管理-トランジットコントロール（排便 コントロール）の視点を含めて
33. 栄養・給食部会研修会		2011年10月		MNAについて学び，栄養ケアマネジメントに活用 する
34. 日本栄養士会		2011年09月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
35. 大阪府栄養士会透析食研究会		2011年08月		透析患者の症例検討
36. 石川県栄養士会		2011年08月		水と電解質の管理
37. 日本栄養士会		2011年08月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
38. 新潟県臨床栄養研究会		2011年07月		バイタルサインの読み取り方，MNAによる栄養アセ スメント
39. 日本栄養士会		2011年07月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
40. 日本栄養士会		2011年06月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
41. 日本栄養士会		2011年03月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
42. 春期ひょうご講座		2010年6月		(母親) ダイエット→(赤ちゃん) 成人期に糖尿病のシナリオ
43. H22年度 認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース		2010年5月	病態栄養学	
44. 国立病院機構長崎医療センターNST勉強会		2010年3月		栄養療法(経腸栄養・輸液栄養)について
45. 日本臨床栄養研究会		2010年11月		低栄養症候群とその栄養管理
46. 化学療法勉強会		2010年11月		化学療法患者の栄養管理
47. 日本栄養士会		2010年11月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
48. 日本栄養士会		2010年10月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
49. 全国福祉栄養士協議会		2010年10月		介護保険施設利用者の非経口栄養について
50. 第12回 ダノン健康・栄養フォーラム		2010年10月		栄養管理の重要性とチーム医療の必要性
51. 社会保険病院拠点研修		2010年10月		栄養アセスメントとNST活動の基本的理解
52. 病院栄養士協議会		2010年09月		褥瘡の栄養管理-栄養アセスメントからちりょうまで
53. 日本栄養士会		2010年09月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
54. 神奈川県栄養士会		2010年09月		高齢者の栄養管理-アウトカムとアセスメント
55. 日本栄養士会		2010年08月		経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際
56. 日本外科代謝栄養学会		2010年07月		血中アミノ酸相互抑制ネットワーク解析から学ぶもの
57. 長野県栄養士会		2010年07月		高度肥満患者の栄養管理
58. 新潟県栄養士会		2010年07月		静脈・経腸栄養の基礎-栄養療法における栄養状態判定の方法と意義と静脈・経腸栄養のモニタリング
59. 日本栄養・食糧学会		2010年05月		臨床栄養管理の意義
60. 三重県臨床栄養研修会		2010年04月		褥瘡のアセスメントおよび栄養管理
61. 石川県栄養士会		2010年03月		水分管理の基礎について
62. 第7回病院栄養士マネジメントセミナー		2009年7月		アウトカム指標としての栄養状態判定基準
63. 第2回みと栄養セミナー		2009年12月		観察式食事記録調査の技法と調査結果の整理の仕方/管理栄養士の専門を高める
64. 特定給食施設(医療・介護施設)栄養管理研修会		2009年11月		アウトカム指標としての栄養状態判定基準
65. 日本栄養士会		2009年11月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
66. 日本栄養士会		2009年11月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
67. 全国福祉栄養士協議会		2009年11月		障害者における栄養アセスメントについて
68. 褥瘡講演会		2009年11月		全身疾患としての褥瘡の栄養療法
69. 県立病院栄養士研修		2009年11月		栄養における水と電解質
70. 日本栄養士会		2009年10月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
71. 大分県栄養士会		2009年10月		症例に学ぶアセスメントとケアプラン、高齢者と栄養
72. 茨城県看護協会教育計画研修		2009年10月		NST組織と活動
73. 葛城集団給食管理研究会研修会		2009年10月		消化管のアセスメントとアウトカム指標
74. 日本栄養士会		2009年09月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
75. 日本栄養士会		2009年08月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見
76. 日本臨床栄養学会北海道地方会総会		2009年06月		臨床栄養に関わる管理栄養士への提言
77. 埼玉県栄養士会		2009年05月		高齢者の栄養管理・超高齢化社会のフロンティアとして
78. 熊本県栄養士会		2009年05月		褥瘡ケアと栄養管理
79. 日韓合同注射薬臨床情報学シンポジウム		2009年04月		臨床栄養学におけるアウトカム指標の意義と課題-薬剤師の果たす役割
80. 日本栄養士会		2009年02月		水、電解質、栄養サポートの根拠と適応、栄養アセスメントと栄養不良の発見

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
81. 第6回神奈川Nutrition Seminar研究会		2008年8月		TNT-C 小児の栄養管理
82. 臨床栄養学セミナー I		2008年7月		論文・学会・研究資料作成のスキル伝授！～皆でエビデンスをつくりだそう～
83. 臨床栄養学セミナー		2008年7月		エビデンスを蓄積するための栄養指標とデータのとり方
84. 第7回富山県NST研究会		2008年6月		終末期医療とNST
85. NSTの研修会		2008年4月		急性期医療における栄養管理のあり方
86. 第39回鹿児島栄養代謝研究会		2008年2月		栄養療法の教育効果の判定方法
87. 特定給食講演会 I		2008年12月		高齢者の栄養評価と改善
88. 全国福祉栄養士協議会		2008年12月		高齢者の経腸栄養について
89. 兵庫臨床栄養研究会		2008年11月		臨床栄養学のEBM
90. 日本職業・災害医学会研修会		2008年11月		医療の中での臨床栄養-臨床栄養のアウトカムの指標選択とその出し方
91. 静岡県栄養士会		2008年11月		侵襲期における急性期の栄養管理について
92. 鹿児島県栄養士会		2008年10月		症例で学ぶ栄養アセスメント, お水のおはなし-体内の水分から下痢・脱水症まで, 食品と薬品-遠くて近いその関係
93. 京都栄養士会		2008年10月		食事と薬の関係
94. 町田・地域サポート研究会		2008年10月		急性期病院から見た地域一体型NSTに期待するもの
95. 小児NSTセミナー		2008年1月		小児の栄養療法のあるべき姿
96. 日本褥瘡学会		2008年08月		全身疾患としての褥瘡と栄養療法
97. 老人福祉施設 栄養士研修会		2008年08月		認知症の理解, 栄養ケアマネジメント
98. 全国福祉栄養士協議会		2008年07月		栄養管理における栄養評価と改善-経腸栄養剤の選択基準, 下痢の原因と対策等
99. 神奈川県栄養士会		2008年05月		栄養アセスメントと嚥下について
100. 愛媛県栄養士会		2008年04月		栄養アセスメント-症例を交えて
101. 全国在宅訪問栄養食事指導研究会		2008年03月		NSTを在宅にどう導入するか
102. 兵庫県栄養士会		2008年03月		栄養アセスメント手法を活用したメタボリック診断
103. 鹿児島県栄養代謝研究会		2008年02月		栄養療法の教育効果の判定方法
104. 病院栄養士協議会		2008年01月		栄養アセスメントスキルアップセミナー
105. 生涯学習研修会		2007年8月		小児の栄養管理-アレルギーも含めて-
106. 生涯学習研修会		2007年6月		栄養評価に伴う臨床栄養学
107. NOVARTIS Medical Trainingセミナー		2007年6月		高齢者の栄養ケア
108. 日本機能性食品医学会		2007年12月		消化器疾患と機能性食品
109. 第5回 山形NSTセミナー		2007年12月		NST活動の継続とスキルアップに向けて
110. そこが知りたい 再び口から食べるための胃ろうの知識		2007年11月		子供の胃ろうを考える
111. 第6回 栄養療法困った症例検討会		2007年10月		経管栄養管理上の注意点
112. 滋賀医科大学NST講演会		2007年10月		栄養療法のピットフォール
113. 全国福祉栄養士協議会		2007年09月		栄養ケアマネジメントに活用できる栄養アセスメントとモニタリング
114. 全国福祉栄養士協議会		2007年08月		栄養ケアマネジメントに活用できる栄養アセスメントとモニタリング
115. 全国福祉栄養士協議会		2007年07月		栄養ケアマネジメントに活用できる栄養アセスメントとモニタリング
116. 山口県栄養士会		2007年06月		医師からみた病態別栄養管理
117. 京都府栄養士会		2007年06月		病態別栄養管理
118. 宮崎県栄養士会		2007年05月		褥瘡の栄養管理
2. 学会発表				
1. 造血幹細胞移植 (HSCT) 後患児の死亡予測指標としてのPNI	共	2012年03月	日本小児栄養研究会	脇田真季, 雨海照祥, 長谷川大一郎, 田中愛子, 石田敏章, 川崎圭一郎, 小阪嘉之
2. 心臓手術施行乳幼児における予後指標としての栄養アセスメント	共	2011年03月	日本小児栄養研究会	脇田真季, 谷口章子, 雨海照祥
3. Is There Survival Indicator With Nutritional Status With Hematopoietic Stem Cell Transplantation In Children? - One Aspect of Albumin and Lymphocyte-	共	2011年02月	Clinical Nutrition Week 2011	Amagai T, Hasegawa D, Wakita M
4. 健康正常児における予後推定栄養指数 (PNI) の年齢推移の検討	共	2010年03月	健康正常児における予後推定栄養指数 (PNI)	川上 肇, 脇田真季, 松岡美緒, 雨海照祥, 連 利博

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
5. Dynamic Nutritional Status Can Predict Clinical Outcome Among Cardiac Surgical Infants In Children's Hospital ?Using Prognostic Nutritional Index-	共	2010年02月	の年齢推移の検討 Clinical Nutrition Week 2010	Akiko Taniguchi, Maki Wakita, Mio Matsuoka, Teruyoshi Amagai
6. Nutritional Index as Clinical Outcome Indicator in Childhood -Infants with Cardiac Surgery -	共	2009年08月	31st ESPEN congress on Clinical Nutrition and Metabolism	Maki Wakita, Akiko Taniguchi, Teruyoshi Amagai
7. アウトカム判定ツールとしての小児PNIの意義	共	2009年05月	日本外科代謝栄養学会	脇田真季, 谷口章子, 雨海照祥
8. 宮崎県栄養士会研修会		2007年5月		褥瘡の栄養管理
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			